

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	2	年
プログラム名	交換留学					
留学期間	西暦 2023 年 8 月 9 日 ~ 2024 年 5 月 5 日					(約10か月)
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	Trinity University of Asia			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は英語を学びたかったことですが、一年生の後期に韓国の語学研修に参加しました。その時に出会った友達の将来の目標や留学する目的、なりたいたい人物像など将来の事についてしっかり考えている事を聞き、私は目標はあるけれど、何も行動していなかったのが焦りと凄いと気持ちになりました。私の夢は客室乗務員になる事なのですが、自分の英語には自信がなく、話すことも得意ではないので、それを克服する為に一度チャレンジしてみようと思ったのがきっかけです。留学してから、チャレンジすることに恐怖を感じる事がなくなり、自分の思ったことを主張できるようになりました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	初めの1ヶ月は本当に辛かったです。授業中はクラスメイトも先生もみんな英語を話すのですが、放課後のディスカッションの時間や休み時間はフィリピンの言語に戻ってしまいます。英語で話して！って言っても話してくれない時期があったので、少しだけ大変でした。ですが、私の立場を理解してくれる留学生や留学経験者がクラスにいて、みんなに説明をしてくれてからはみんなと英語で楽しく会話できるようになりました。毎日どこかで歌っている人や踊っている人がいてワイワイしていたので、退屈と感じたことは一度もありませんでした。長い休みにはみんなでビーチに行ったり、山に行ったりフィリピンの北から南まで行きました。フィリピンだけではなく、近くの国にもたくさん旅行をしました。フィリピンは島国ですが、安く近くの国へ行くことができ、アクセスが良いのは、フィリピンの良いところだと思います。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	初めはフィリピンについて何も知らなかったのですが、フィリピンの文化の授業をとって必死にフィリピンについて知ろうとしました。周りの人が私の先生になって教えてくれたことで文化も歴史も地理も今は知っています。フィリピンの日本で言う都道府県の位置と県の名前が言えるようにまできました。英語を流暢に話せることが目標でしたが、英語もタガログ語もフィリピンの文化、歴史など、色々なことを学びました。英語も単語が分からなければ諦めてジェスチャーなどで伝えようとしていましたが、今ではその単語を言葉を使って説明できるようになりました。目標の達成度は初めに立てた目標より、よりレベルの高いものになったと思っています。また、フィリピンで感じたことは偏見で判断してはいけないということです。フィリピン留学と聞いて、親や周りの人はたくさん反対をしましたが、実際に現地で勉強してフィリピンでしかできない体験をしたし、英語とタガログ語、スペイン語を学びました。こんなに友達ができただけでフィリピン人の人柄や性格の影響もあると思います。私はとても良い忘れられない経験をしました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学で留学生の立場になってから、留学生の生きづらさ、生活のしづらさを痛感しました。留学生の立場になるまでは留学生を気にすることは無かったのですが、他国に1人で来るのは勇気が必要です。私もフィリピンでは沢山の人の支えられ、お世話になりました。帰国した今は留学生をサポートできるような活動をしたり、留学生サポーターになり、少しでも楽しく日本の生活ができるように支えて恩返しをしたいです。また、英語のスキルが落ちないように留学生とコミュニケーションを取りながら、継続して勉強します。
5. 自由記述	トリニティがすごく恋しいです。毎日本当に楽しかったです。いろんな文化を五感で感じて、いろんな場所に行って企業作ってものを売ったり、実際に空港で研修をしたり、覚えたタガログ語を使って注文したり...どれも素敵な思い出です。1番恋しいのは人です。またいつか訪れたいです。 【語学テスト結果】 留学前: TOEIC575 留学後: TOEIC675

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。